

総合計画／実施計画書 兼 事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局	部局名	企画部
	課室名	企画調整課

6. 前年度の事業評価				評価に関する視点	
事業の必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	1	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。	
理由	本事業が、他市町村からの転入に直接結びついているとは思えない。（現に転入者が建築契約または着工後に、本制度の情報を入手するケースがある。）したがって、本事業を抜本的に見直し、より効率的な定住促進施策を展開する必要がある。				
行政の与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。	
理由	民間でサービスを提供できないため、行政以外による実施は困難である。				
手段の妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	1	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。	
理由	本事業が、他市町村からの転入に直接結びついているとは思えないため、本事業を抜本的に見直し、より効率的な定住促進施策を展開する必要がある。				
事業の果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	2	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。	
理由	本事業が、他市町村からの転入に直接結びついておらず、その効果は薄いため。				
事業の算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	3	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。	
理由	平成21年度までは、現状の予算規模で推移する必要があるため。				
人体員制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。	
理由	兼任業務であり、人員の削減は困難である。				
事業規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。	
理由	実施計画どおり、平成21年度まで現状の方法で事業を実施し、平成22年度以降は再考すべきである。				
その他、特記事項	事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
例えば、他市町村からの転入者に対する定住奨励金に特化するなど、本事業を抜本的に見直し、より効率的な定住促進施策を展開する必要がある。 また、その際は、基準及び交付方法についても再考すべきである。（例：旧三重町のエンジェルチケットなど。）					
部長	課長	班長	担当者	内線 2053 E-mail @bungo-ohno.jp	